

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育てます。・体育祭や球技大会等の体育的行事を通して、スポーツに親しむ態度を育てます。
担当	保健体育科

健やかな体に関わる本校の状況
<p>(1) 健やかな体に関わる児童生徒の実態 <体育・健康に関する実態> ・学区が広く、歩く距離の長い生徒が多い。生徒の8～9割が部活動に所属しており、そのうち6割が運動部に在籍している。 ・素直な性格の生徒が多いが、周囲から言われたことをそのまま受け取ってしまい、自ら考え主体的に行動する力をつけることが課題である。 ・生徒への生活アンケートから睡眠時間を確保できていない生徒も多く、授業に集中して取り組めないことが懸念される。</p> <p><体力の概要と要因の分析> 体格：男子は全国に比べてやや肥満の学年が多く、女子はやせの出現率がやや高い。 体力：俊敏性・瞬発力・柔軟性等、横浜市の平均値を大きく上回っている。 運動習慣：運動習慣のある生徒と、ない生徒の2極化がみられる。 生活・学習：まじめに学習に取り組むが、自ら思考する力が課題である。</p> <p>(2) これまでの学校の取組状況 体育祭などの行事において、全校で取り組む大縄種目を取り入れる。大縄時程を作成し、全校一斉に大縄を練習する時間を設定する。行事に向けてのクラスづくりはもちろんのこと、体力向上のためにも、毎年行っていく。</p>

今年度の目標
○望ましい生活習慣を身につけさせ、心身の健康や体力の保持増進に取り組む態度を育てます。

目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科、保健体育科では、「健やかな体」を目標とし、体力テストの結果をスポーツテスト記録用紙に転記し、継続的に自己の体力を知ることができるようにする。そして、自分にあった体力の目標をもち運動を継続していこうとする態度を身に付けさせることができるようにする。 ・家庭科では、食教育との関連を図り、日常の食事の大切さに気付かせる。 ・理科では、人の体のつくりについて正しく理解し、体力を高めたり健康を保持増進しようとしたりする意欲が持てるようにする。 ・体育祭では、授業で培った資質能力をさらに発展させ、仲間と一致団結し目標に向かって努力できるようにする。そして、目標達成や成功の喜びを味わえるようにする。 ・保健委員会では、生活習慣の調査を行い、健康についての意識を高める。 ・昼休みボール貸出を行い、グラウンドでの運動の推進を行う。
下半期	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会では、授業で培った技能を発揮すると共に、仲間と共に目標に向かい、協力し、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。 ・家庭科では、食教育との関連を図り、日常の食事の大切さに気付かせる。 ・理科では、人の体のつくりについて正しく理解し、体力を高めたり健康を保持増進しようとしたりする意欲が持てるようにする。 ・保健委員会では、生活習慣の調査を行い、健康についての意識を高める。 ・球技大会では、授業で培った技能を発揮すると共に、仲間と共に目標に向かい、協力し、積極的にコミュニケーションを取れるようにする。 ・昼休みボール貸出を行い、グラウンドでの運動の推進を行う。